



世界遺産チェコ共和国チェスキー・クルムロフ歴史地区の景観 (撮影:日高クリニック院長 松本和博)

## 謹賀新年

## 年頭所感

2017

社会医療法人  
仁生会 理事長  
細木 秀美

### 病院とは？が問われる

### 新時代へ…

皆様、明けましておめでとうございます。

今年の干支は「酉」です。申が去り、未来へ羽ばたく酉の年になりました。皆様のご家庭でも、飛躍の年としてお考えの方もおられることでしょう。

ところが、病院を取り巻く環境は、今後、大きく変化してまいります。2018年4月から、慢性期の病棟、特に介護療養病棟と25対1の医療療養病棟が医療から外されます。高知県では、合計で約3300床が病院のベッドではなくなるとのことです。高知県は皆様ご存じのとおり、病院のベッドの大幅な過剰地域です。2025年に向けて、高知大学医学部や高知医療センターのような高度急性期病院でもベッドの削減が叫ばれ、一般急性期も大幅に削減されそうです。不足しているのは回復期リハビリテーション病棟のみです。

それでは、今入院中の患者様はどこに行けばよいのでしょうか。今の病院のベッドが転換して、老人の慢性期の患者様を受け入れるしか方法がありません。そのためには、病院のベッドが生活のためのベッドへ転換する必要があります。

ります。今では、いつまでも急性期の病院に入院することはできなくなってきました、ずいぶん時間が経ってまいりました。特別養護老人ホームも要介護3以上でなければ入所はできなくなり、障害の程度の低い老人は、サービス付き高齢者向け住宅などの、所謂アパルトに入らざるを得なくなっています。しかも、ここしばらくは、老人が増えます。ますます増加し、障害を持つ老人は増え続けることでしょう。今からの障害福祉がますます重要になってまいります。

今後、病院には、本当に今、治療が必要な方のみが入ることになります。医療はEBM (evidence based medicine) に基づいて、最も効率的に医学的な医療が行われることになるでしょう。人の心を大切にすると、ヒューマニズムに基づいた医療はもちろん最も大切ですが、今の状況では、まず疾患の治療に重点を置くことになりそうです。このような大きな変化の時代、細木病院グループは、「病気になったときには、ここにかかりたい」と言われるような、患者様にとって最適な医療を目指して、職員にとっては働きやすい環境になるように努力していきたいと思えます。

細木病院  
院長



堀見 忠司

今年も新たな年が参りました。新年には、誰もが、「さあ！今年は……！」と自然と気合が入り、また1年ごとの年齢を重ねては、ありがたくもあり、悲しくもあります。

わが家には、『小太郎』という犬がいます。17歳になり、目も耳も歩行もおぼつかなくなっています。いつも世話をしてくれているわが妻を、まるで人間の子どもが母親に甘えるのと同じようなしぐさで、彼は最期を尽くしています。その愛犬を見るたびに、人間の成長と老化を見ている気持ちになり、全ての生きている皆は何もかも同じだなあと不思議な感じがします。

昨年は、世の中には、本当に色々な変化が起こりました。その結果、新たな進化の予感が大いに期待されます。わが細木病院も、病院幹部5名によるGMM (Good Morning Meeting) の発足やNPO法人日本医師事務作業補助研究会高知支部の立ち上げ、さらには高知家フォーラムの中で、仁生会が『子育て支援部門 優秀賞』を受賞するなど色々なことがありました。

今年も、昨年12月に策定された高知

県の地域医療構想に基づく細木病院としての対応と変化、県民とともに高知県の健康パスポートの活用などを踏まえ、新しい細木病院に向けた新築または改築構想や、地域包括ケアシステムの普及と定着など、常に全国的な医療情勢の観点に立った、新たな企画に取り組まなければなりません。

細木病院は、これまでの理念を見直して、新たな理念を貫きたいと思えます。まず患者さんを中心とした安全と安心を提供する病院をめざし、勤務する職員は、「報告・連絡・相談」をモットーに、日進月歩する最新の医療に精進し、健全経営によって、急性期、回復期、慢性期のみならず、在宅医療まですべてを県民、市民の患者さんに提供していくことを誓います。

そして、近い将来の2020年から押し寄せてくるわが国の少子高齢化による医療界の“TUNAMI”に対して、細木病院の職員の方々をはじめ、細木病院に関係するすべての皆様と一緒に、『今から変化によって進化し、生き延びる』ことを唱えながら、細木病院はあの老犬のように、いつまでも誰にも愛される病院として、この大きな荒波と一緒に乗り越えていきたいと祈念しています。

### 平成29年 年頭所感

細木  
ユニティ病院  
院長



吉川 賢一

平成29年、明けましておめでとうございませう。本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

私は、少し前から、ダイエットを目的に、病院内ではエレベーターはできるだけ使わず、階段の駆け上がり下がりをして頑張っています。また、時間があれば、家の近所を散歩しています。休日には、家族と一緒に車で、運転を交代しながら、県外などに出かけ、観光地に着けば、その近辺を徒歩で散策するのを楽しみにしています。観光地に行く前に観光案内を調べ、前もって訪れる場所を探すのは私の仕事となっています。

昨年訪問した最初の観光地は、6月には遠すぎて、高知空港から羽田空港に行き、小田原を経て箱根に到着しました。芦ノ湖の遊覧船に乗り、駒ヶ岳ロープウェイに乗ると、遊覧船から見た富士山が、より大きく見えて、富士山ファンの私は大喜びでした。箱根ロープウェイには、火山ガスのために乗ることができませんでした。

9月には「金比羅さん」に行き、階段を一步步進み、785段の御本宮まで登りました。階段を下りるときには膝が笑っていました。その日は、夫婦で

近くの温泉旅館で夕食を食べ、足をゆつくりと休めることができました。翌日は高松市の塩江温泉に行き、「奥の湯温泉」に1泊しました。昭和50年にできた温泉旅館ですが、老朽化しているとのこと、今年の春に取り壊しになると聞きました。その夜は、ゆつたりと温泉に入り、おいしい食事をお楽しみしました。

10月には家族3人で鳥取市に行き、大自然の壮大な「鳥取砂丘」にびっくりしました。その後、人工で作った「砂の美術館」に行き、「砂で世界旅行・南米編」と題した素晴らしい造型を楽しみました。「リオのカーニバル」「空中都市マチュピチュ」「ガラパゴスの動物たち」など、20人程の砂の彫刻家を作った立体的な18場面を楽しむことができました。高知から鳥取までは、片道約280kmで、3時間30分程を要しましたが、その疲れも吹き飛ばすくらい感動しました。

本年も、運動をしながら楽しめる観光地を探そうと考えています。リフレッシュし、健康を維持できるような努めていきたいと考えています。

最後に、細木ユニティ病院の今年の目標！

電子カルテへの変更の準備、S館耐震工事の診断継続、ストレスチェックの継続（昨年は1万5千人弱が受診）などを考えています。精神科医療も、これまで以上に頑張っていきます。

三愛病院  
院長



深田 順一

新年、あけましておめでとうございます。

三愛病院の患者様、施設ご利用の皆様、そしてご家族様には、それぞれの場で元日をお迎えになられたことと存じますが、三愛病院グループは職員一同、力を合わせて本年も少しでも皆様に喜んでいただける医療サービスをお届けできるよう努めていく所存です。

振り返ってみますと、昨年は、地域の清掃活動や一宮交番ふれあいまつりなどの行事に、これまで以上に積極的に参加させていただきました。そしてこのことを通じて、地域の皆様にとされる医療・介護のニーズや、求めておられる保健情報を教えていただき、また肌で感じることができ、また皆様にも三愛病院グループのことを、より身近に知っていただけたのではないかと、思っております。このよくな直接のふれあいは、今年も、できるだけ前向きに関わっていききたいと思っています。

また地域で力を合わせて、という意

味では、医療機関同士の協力も大事だと思っております。その意味で昨年末には、当院において、高知大学病院、岩

崎胃腸科内科、浅井産婦人科・内科、

一宮きずなクリニック、そして福田心臓血管外科・消化器内科の諸先生方と

一堂に会し、交流を深める機会があつ

たことは何よりでした。地域ことは地域で、という心意気で、今後も連携

を深め、お役に立っていききたいと思

います。本年は、これまで準備してきました

各部署の業務改善を、それぞれ形にし

ていけるものと思っておりますが、その

一環として、最近、当院のホームページをリニューアルしました。お気付き

になっておられますでしょうか？ま

た、当院の顔に当たる屋上付近のお化粧直ししましたので、2017年が

始まるに当たっての私どもの気持ちとしてご覧いただければ、と思

います。本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

日高クリニック  
院長



松本 和博

新年あけましておめでとうございます。

私が生まれた申年が終わり、新しく酉の年になりました。過去3年間は、仁生会にとっても、日高クリニックにとっても大変な試練の年でしたが、おかげさまで、日高クリニックは昨年、無事20周年を迎えることができました。私が高知へ戻って20年、院長になって20年、還暦の年に20周年を迎えたことは望外の喜びです。これも、開

院以来、私を支えてくださった細木秀美理事長、矢野道恵看護師長、他職員のおかげと感謝しています。当初は、来院してくれる患者さんを診察するだけの医療でしたが、この20年、日高村民のかかりつけ医として、健診事業や予防接種、在宅医療の重要性を再認識し、実践してきました。今年、在宅医療の根幹となる日高クリニック付属の居宅介護支援事業所やデイケア、グループホームが、外来や他の在宅施設と連携を深め、日高村民に

もつ少し浸透するように努力していき

たいと考えています。昨年、天皇陛下が生前退位の意向を示された気持ちが発表されました。

平成という元号に愛着があります。あ

と何回使うことになるか分かりませんが、少なくとも2017年は平成29年

という事で間違いありません。昨年

できなかったことは、今年のうちに成し遂げるぐらいの気持ちで、各部署でのレベルアップと調和を目指していただきますようお願いいたします。

この新しい年がより良き年になるよう心より祈念いたしました。私からの年頭の挨拶とさせていただきます。皆さん、今年もよろしく申し上げます。一緒に頑張りましょう。



# 今年の年男・年女



三愛病院 外来 看護師  
印藤 るみ

初春のお慶びを申し上げます。早いもので三愛病院に就職しまして9年目に突入します。信頼できる職場の方々と毎日楽しく仕事をさせていただいており、とても感謝しております。



細木病院 総務課主任  
門田 紘和

明けましておめでとうございます。初期臨床研修に携わって今年で5年

目となり、指導医の先生方や研修医をはじめ各部署の方々には助けられながら、何とかここまでやってこられたことに心より感謝申し上げます。

今年は、私にとって縁起の良い年とされていますが、昨年の自分に負けないよう全力投球でトリ組み、イロトリどりの年にし、微力ではありますが、仁生会の発展に貢献

できるような気がします。のでよろしくお願ひします。



本部 人事部 事務職員  
川村 美保子

明けましておめでとうございます。昨年9月に本部に異動になりました。まわりの皆さんに色々教わりながら少しずつ慣れてきましたが、帰路は「二人反貧会」で日々勉強の毎日です。

職場が以前より近くなったため、通勤方法も「自動車」から「自転車・

徒歩」へ変わり随分健康的になりました。4度目の年女…これを機会に、次の年女も健康で迎えられるよう運動習慣を身につけたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



細木病院 放射線科部長  
耕崎 志乃

晴れやかな新年、明けましておめでとうございます。西年・年女として新年の抱負を述べさせていただきます。

年始に当たり、3つの目標を掲げます。

「誠実」目の前の人を大切に、仲良い環境を築く努力を続ける。

「報恩」他者の苦しみに同苦し、寄り添い、他者の幸福に貢献する。

「感謝」日々の暮らしを陰で支え、苦勞してくださっている多くの方々に感謝する。

一生懸命、元気いっぱい西年1年にしてい



細木ユニティ病院 作業療法士  
西嶋 啓彰

ます。よろしくお願ひいたします。

明けましておめでとうございます。今年で3回目年男となりました。

西年には「果実が成熟の極限に達した状態」とい

われるなど、色々な意味があるようです。そんな西年の「とり」は「取り込む」といわれ、商売などでは縁起のよい干支といわれています。

細木ユニティ病院に就職してあつという間の5年目ですが、まだまだ未熟者です。今年は色々なことを貪欲に「とりくんで」いくように視野を広げて積極的に行動していきたいと思ひます。



グループホームひだかの里とんぼ 介護福祉士  
松田 純世

明けましておめでとうございます。仁生会に就職して9か月とまだまだ

浅いですが、まわりの優しい先輩方から色々教えてもらい、ここまでくることができました。

今年年女ということでは何か新しいことを考えたのですが、今まで同様、子どものサッカーの応援サポートを全力でしてきます。仕事に対しては、気になるところは勉強(研修)していき、

自分のものにしていきます。もちろん健康で明るく頑張りたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。



細木病院 臨床工学技士  
森 勇樹

明けましておめでとうございます。細木病院に来て8年目になります。技士になって14年になるのですが、そのうちの半分以上を細木病院で働かせてもらっています。私

が来たときは技士不在の状況から開始し、どこまでやれるか不安でいっぱいでしたが、医師や看護師、その他色々な職員の方々の助力があり、ここまでやってこれたと思っ

ています。まだ日々勉強しながらではありますが、細木病院の職員として精いっぱい努力をしていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひします。



三愛病院 愛1病棟 看護師  
夕部 弥生

明けましておめでとうございます。昨年8月に入職し、5か月が経ちました。先輩看護師の皆さんの丁寧なご指導のもと、少しずつ職場と業務に慣れていき、毎日を過ごすことができいま

す。今はまだ自分のことで精いっぱいなので、知識、技術ともに成長できるように頑張っていきたいと思ひます。

私生活では、シエネレーションズが好きなので、今年もライブに行けるように願っています。当たりますように!!(笑)



高  
日  
クリニク

**開院20周年記念 ぼやぎ爆笑寄席開催**  
**大笑いで、ますます健康に!**

12月5日、気持ちの良

細木秀美理事長の開会

阪の繁昌亭大賞の奨励賞

い冬晴れの広がる陽気の

挨拶では、日高村や近隣

を受賞されたばかりの関

中、日高村社会福祉セン

市町の皆様に支えられて

西落語会気鋭の噺家、桂

ター大ホールにて、日高

20周年を迎えることがで

かい枝師匠が落語を披露

クリニック開院20周年記

きた喜びや、笑うことが

してくれました。会場は

念ほそぎ爆笑寄席「桂か

健康の秘訣であること、

終始笑顔と大笑いの連続

い枝・桂文鹿二人会」が

また落語の歴史などの話

で、「大笑いしました!

開催されました。日高村

がありました。そして和

それも頭を使つての笑い

で初めて開催される落語

やかな雰囲気の中、テン

で良かった」「本日は榮

会とのことで、平日にも

ポの良い出囃子ととも

しい催しありがとうございました

かかわらず日高村や近隣

に、まずは元プロボク

이었습니다」「20周年おめ

市町より120名を超える来

サーという異色の噺家、

どうぞございます! ます

場者にお越しいただきま

桂文鹿師匠が落語を披

ます地域に健康を与えて

した。

露。続いて、つい先日大

くれますように!」など、

とても温かいお言

葉をたくさんいた

だきました。

開院20周年記念

落語会を行うに当

たり、日高村役場

および日高村社会

福祉協議会、また

近隣事業所の皆様

や運営スタッフに

多大なご協力をい

たきました。

同、地域に根ざした医療、

介護を実践していけるよ

う努めて参りたいと思

います。

(事務長 尾原 団)



細木病院

**第43回日本臨床外科学会**  
**高知県支部会で研修医が症例発表**



された胆嚢結腸瘻の「思いを伝えることの難し例」と題して発表しまし

た。喜びを実感しました。こ

胆嚢結腸瘻とは内胆汁

を活かして、実際の医

療の現場でも、医療チー

ムの方や患者さん相手に

8%程度と珍しい疾患で

自分の考えを上手に伝え

す。会場は想像以上に活

発に質疑応答がされてい

て、私が発表のときは、

高知大学の渡橋先生が質

問してくださり、有意義

な議論を交わすことがで

きました。尾崎外科部長には大変感

謝申し上げます。

今回の発表を経験し

(初期臨床研修医 三宅健太郎)

ただきました。これから

も日高クリニック職員一

同、地域に根ざした医療、

介護を実践していけるよ

う努めて参りたいと思

**仁生会年報**  
**2015 第17号 刊行**

発刊に際してのご協力に深く感謝申し上げます。  
仁生会年報編集委員会

## 細木ユニティ病院

### 音楽療法コンサートのご案内

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月 2 回ほど、S館 6 階で音楽療法コンサートを開催しています。

無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。

\*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

今年創立 63 年になる、名前の通り明るく笑顔の絶えない合唱団です。童謡・民謡、ポップス、合唱曲、創作曲など幅広い音楽を 20 代から 80 代の約 60 名のメンバーで歌っています。細木ユニティ病院では平成 12 年から歌っており、今年で 18 回目になります。

2月18日(土) 午後2時  
出演…高知コーラス合奏団

#### 第373回 ◆ あたかコーラス宅急便

大阪生まれ高知育ち。大学在学中にリリースした自主制作CDがきっかけで高知新聞に「異色の理系シンガーソングライター」と紹介され、現在、東京と高知を中心にライブ活動や映画の挿入歌、CM曲にも携わるなど活躍中。FM高知で「樹奈の Music Library」放送中。また高知新聞K+で「本との出会いナビ」連載中。

2月10日(金) 午後2時  
出演…樹奈

#### 第372回 ◆ 樹奈ピアノ弾き語りライブ春の訪れ



ソーシャルワーカーからのミニ情報

## ご存じですか!?

### こうちあったかパーキング制度について

「こうちあったかパーキング制度」は、公共施設やショッピングセンター等の障害者等用駐車場の適正に利用していたくため、障害者や高齢者など移動に配慮が必要な方に、高知県が県内共通の利用証を交付する制度です。

対象となる方は、障害者、高齢者、難病等により移動に配慮が必要な方、妊産婦、けが等により一時的に移動に配慮が必要な方などです。利用証は、高知県障害福祉課、県福祉保健所の窓口、もしくは郵送にて申請することで交付されます。申請の際には、各種

手帳や受給者証、けが等により一時的に利用する方については、医師の診断書が必要になります。交付された利用証は、駐車した際に外から見えない場所にかけて、県に協力施設・事業所として登録している、あつたかパーキングのステッカーが張られた駐車場、車椅子表示のある駐車場に停めることができます。

詳しい内容等につきましては、細木病院患者サポート室または県の担当窓口までお問い合わせください。

(地域連携推進センター 患者サポート室 小笠原 望)

あなたとあゆむ

## 積善会 ニュース NO.101

### 有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F  
TEL : 088-873-0146  
FAX : 088-873-0147

### 《売店》

細木病院 新館地下  
088-822-7211(代)/内線1610  
三菱病院 1階  
088-845-5291(代)/内線260



新年あけましておめでとうございます。昨年私どもは、一昨年から取り組んでいるロボット、データ分析等のハイテク商品を使い、実際に仁生会の皆様にお役に立てるサービスの立ち上げおよびトライアルに取り組みました。両者とも現在進行中ですが、細木ユニティ病院様における利用者様との自然言語による会話で病院内を案内するシステムと、細木病院様における外来・病棟別費用分析のプロジェクトがこれらに相当します。また、今年からは清掃も機械化を進め、より品質の高い清掃サービスのご提供に努める所存です。今後ともこれらのテクノロジーを使用し、より品質の高いサービスを仁生会の皆様にお届けしたいと思います。

また、本年は弊社の事務所を今の場所から、斜め向かいの駐車場 (P4) に移転することを決定いたしました (移転先の駐車台数は可能な限り現状維持を図る予定です)。現時点では2017年11月に新社屋に移転予定です。新しい環境で気分も新たに今年も色々なことに挑戦し、仁生会に貢献していきたいと考えています。

今年が皆様にとりまして、素晴らしい1年となることをご祈念しております。

有限会社積善会 代表取締役 柳井 康伸

### “快気祝い”は おさまりですか!?

お菓子、日用品、洗剤などギフト商品をカタログ販売にて取扱いを始めました。お気軽にご相談ください。

#### 取扱い商品の一例



ご注文・お問い合わせは、積善会事務所または、各売店までお申し付けください。高知県内送料無料 (2,000円以上)

(有)積善会がお届けするインターネットショップ! Zenショップが新しくなりました。

新製品も続々登場!!  
ぜひ一度ご覧ください。

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>





